

## ABA 韓国視察記

～韓国施工学会との MOU 締結及び工場視察他～

株式会社マルシン  
代表取締役 近藤 旭

昨年 11 月に当組合との関係団体である ABA が韓国の工場視察をされたので、当組合の監事もされてます(株)マルシンの近藤社長に訪問記を掲載いただきます。(事務局)

### 1. はじめに ～視察背景～

弊社をはじめとする企業が属する「アルミニウム合金材料工場塗装工業会」(以下、「ABA」と記す)はアルミニウム合金材料の塗装仕上げにおける品質の確保と環境安全への配慮を目的として会員企業 30 社(正会員 19 社、賛助会員 11 社。設立当時)で 2014 年 1 月にスタートし、その主な活動内容として工業会会員およびその顧客に対する情報提供と勉強会の開催、展示会への出展等を積極的に推進している。この活動の一環として一昨年、昨年と 2 年連続で海外視察を行った。

一昨年は ABA をはじめ、日本パウダーコーティング協同組合(以下「パウダー協」と(一社)軽金属製品協会に協賛頂き、各会員企業の計 14 名の有志と、米国 ATLAS 社の有する南フロリダ・アリゾナの暴露試験場を見学した。

昨年は ABA のみでの単独開催となったが、韓国建築施工学会(以下「KiC」と記す)との協力を確認する MOU (Memorandum of Understanding。日本で云う覚書)の締結と賛助会員企業である(株)バルクケミカルズ・ジャパン(以下「バルク社)の製品を使用する工場の塗装業者 2 社の見学をメインとし、最終日には韓国に粉体製造工場を持つ AKZO NOBEL Korea の粉体が塗装された 2 物件を視察した。

尚、KiC との MOU 締結に至った経緯は、この視察の旗振り役の一人でもある、ものづくり大学名誉教授の近藤照夫先生(ABA 顧問)が理事を務める日本建築仕上学会と KiC とが協力関係にあるからで、KiC の理事であり、国際交流委員長を務める湖西大学校権教授に ABA の活動や意義を評価して頂き、韓国でも学術的に論文等で発表された理論や、試験の積み重ねによって出版された(塗装の)標準仕様書を世の中(=実際の塗装業者やその顧客、または施主や設計やゼネコン)に広める為に生まれた ABA のような団体が生まれてほしい、との願いを込めて結ばれた。

### 2. 視察概要

#### 2-1. メンバー構成

詳細は伏せるが(写真でばれてしまうが…(笑))、筆者含む正会員企業(=塗装業者) 3

社 4 名と賛助会員 6 社 8 名及び上述の近藤照夫先生の計 13 名が参加した。尚、ゼネコン関係者も後日合流したことも付け加えておく。

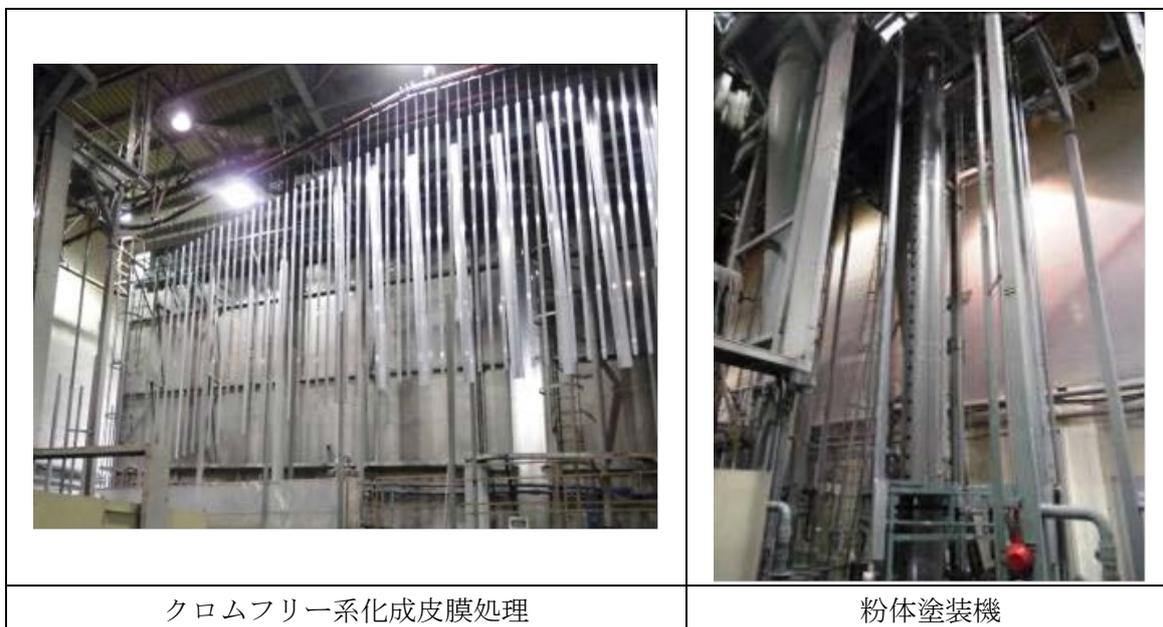
## 2-2. 視察一日目 (2015 年 11 月 12 日)

筆者は韓国への訪問はこれで 5 回目であるが、相変わらず韓国の道路事情は酷く、自分では運転できそうにない…。今回の旅はその他の視察先も含め、移動時間が見学時間より遥かに長く、渋滞や道路環境も悪く、常に胃に負担が掛かった。

そんな中、1 日目は金浦国際空港到着後、Seoul Metal 社の唐津工場を訪問した。

Seoul Metal 社は、現代グループのアルミニウム合金材料メーカーとなる Hyundai Industry 社を本流として、Seoul Metal 社の買収を経て、現在の社名に至っている。

現在は、仁川工場と唐津工場でアルミニウム合金材料を製造しており、仁川工場は表面処理（陽極酸化皮膜処理）のみで、唐津工場では溶融、鋳造、成形、押出加工と粉体塗装を行っており、上述のバルク社のクロムフリー系化成皮膜処理剤「E-CLPS®2100」を使用している。



大抵、海外の塗装工場を訪問するとその圧倒的スケールに驚嘆するのだが、Seoul Metal 社も例外でなく、大型の建材製品を扱い、その圧倒的生産量は目を見張るものがあり、総じてきれいな塗装工場だな、という印象を持った。

## 2-3. 視察2日目 (2015 年 11 月 13 日)

2 日目はあいにくの雨。誰か雨男がいるらしい(笑)。

ソウル郊外へ 2 時間車で揺られ、午前中訪問した Merco 社は、1998 年に京畿道坡州市自由の村 (Daeseong-Dong) の貸工場で建築用アルミニウム合金材料の塗装専門アプリケー

ターとして創業し、経営の拡大を続けて、2004年に Merco 社と社名変更した。2005年には、京畿道華城市に華城工場を設立し移動し、現在に至っている。

	
<p>ディスク式塗装機（溶剤）</p>	<p>横吊りライン用バッチ式化成処理</p>

Merco 社は韓国塗料メーカーの PVDF ライセンス工場になっており、横吊りのバッチ式処理設備と縦吊りの化成処理・塗装一体型設備を有し、塗装機も最新のベル式やディスク式の塗装ガンを使用、設備投資は惜しまないという印象を受けた。

午後車に揺られること 2 時間、ソウル市に戻ってきたのち、KiC との MOU 調印式に臨んだ。筆者は ABA の会長の代理として、この調印式で判を押す大役を仰せつかった。懇親会なども終始和やかな雰囲気、韓国の先生方との会合を楽しんだ。

	
<p>調印式の様子 (右:韓国大 Kyung-In Kang 教授で KiC 会長)</p>	<p>調印式後集合写真</p>

#### 2-4. 視察最終日（2015年11月14日）

この日も小雨が降り注ぐあいにくの天気だったが、韓国屈指の名門校延世大学校新村キャンパス（権教授談：日本で云うところの慶応大学にあたるものこと）の広大かつきれいなキャンパスを目の当たりにすると気分が和んだ。

延世大学ではこの日、KiCの秋季大会が開かれていたが、KiCとのMOU締結を記念して、国際交流委員会が主催となった特別講演として、近藤先生と筆者が壇上で講演をした。筆者はABAの紹介を、近藤先生は『日本におけるアルミニウム合金建築材料に対する環境配慮形塗装の研究開発』と題した講演を紹介し、日本における従来からの工場塗装に対する考え方や標準仕様書の説明などを行った。



その後、AKZO NOBEL Koreaの粉体を使用した物件を2つほど廻ったのち、帰路に就くために金浦国際空港に向かうのだが、通常30分強の路程を渋滞が原因で2時間以上かかり、空港に着いたのがチェックイン締切3分前。危うく乗り過ごすところであり、最初から最後まで韓国の交通事情に泣かされた。

#### 3. おわりに

今回、筆者が韓国視察及びその他の海外視察を経て思ったことは、まだまだ日本には技術的優位性があり、日本企業は品質に関して真摯に取り組んでいるということに尽きる。この先もこの技術的品質的優位性を維持するべく、ABAやパウダー協をはじめ、様々な機関・団体と連携し、またその各企業と切磋琢磨していきたい。

最後になるが、この韓国視察の中心的役割を果たしていただいた近藤先生及び韓国の権教授やその他の先生方、また視察に参加された企業の方々、及びこの紙面でABAの活動報告の機会を与えて頂いたパウダー協の福田専務理事にこの場をお借りしてお礼申し上げる。

## 2016年1月－3月の主な組合活動報告

### 1. 日本パウダーコーティング協同組合本部報告

- 1) クオリコート委員会(軽金属製品協会にて) 1月14日, 1月25日,  
2月5日, 3月18日
- 2) IPCO〔国際工業塗装高度化推進会議〕(塗料報知新聞社会議室にて) 2月18日
- 3) 賀詞交歓会、互礼会、総会
  - ① 1月 6日 一社) 日本塗料工業会賀詞交歓会
  - ② 1月 12日 中部賀詞交歓会
  - ③ 1月 21日 日本パウダーコーティング協同組合賀詞交歓会
  - ④ 1月 25日 日本塗装機械工業会(CEMA) 互礼会
  - ⑤ 2月 6日 埼玉工業塗装協同組合賀詞交換会
  - ⑥ 2月 12日 榑板通賀詞交歓会
  - ⑦ 2月 13日 東京工業塗装協同組合賀詞交歓会
  - ⑧ 3月 3日 アルミニウム合金材料工場塗装工業会(ABA) 総会
- 4) 1月21日 第83回日本パウダーコーティング協同組合理事会(メルパルク東京)
- 5) 粉体塗装研究会セミナー：
  - ① 2月16日 第1回セミナー(大井町きゅりあんにて) 43名

### 2. 支部会報告

- 1) 名古屋支部  
2月28日 業界対応専門研修(工業塗装) 名古屋市工業研究所  
3/4、18、25 の合わせて4日間
- 2) 大阪支部  
1月27日 大阪支部賀詞交歓会
- 3) 東京支部  
2月23日 青年部会(Japca Rookies)

### 3. 新会員紹介 今後ともよろしくお願ひ致します。

3月6日付でダイニッカ株式会社様が当組合にご加入手続きをされましたのでご報告致します。(4月15日理事会承認、5月19日総会承認の手続きを取ります)

登録はダイニッカ株式会社 神奈川支店様

代表者 代表取締役社長 横地 将男様、担当者 理事 早藤 武史様

ホームページ：<http://www.dainikka.co.jp/index.html>

日本パウダーコーティング協同組合賀詞交歓会風景(平成 28 年 1 月 21 日)



渡邊理事長の御挨拶



渡邊理事長ご挨拶時の全景



経済産業省井上室長様御挨拶



黒野副理事長の乾杯



井上室長様御挨拶時の全景



中締めのあとの二次会風景

最新型パウダーセンター登場PXS型 今春日本初導入決定

Industrial Solutions



All rights reserved © 2011 WAGNER

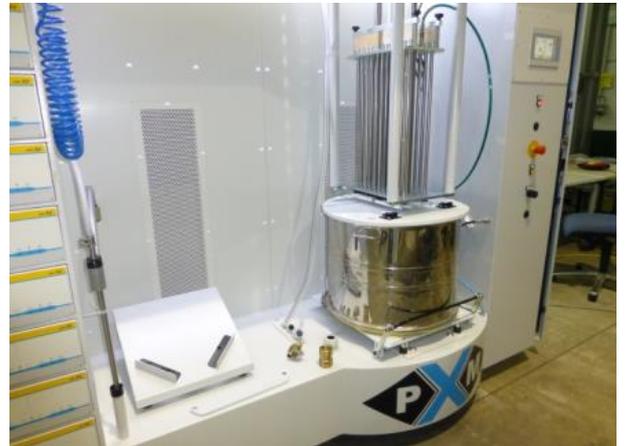
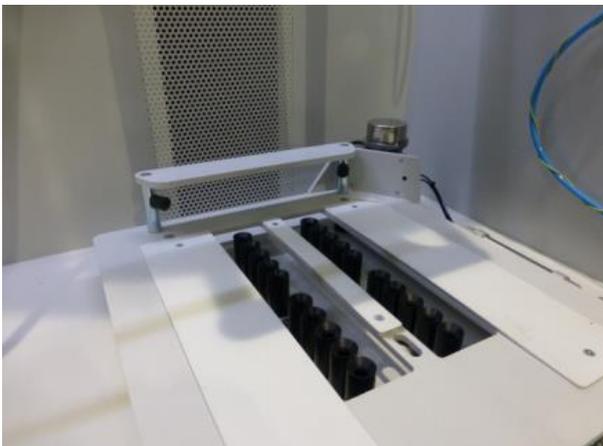
Teil der Präsentation | Datum der Präsentation | Seite 1

WAGNER GROUP

## なぜ PXM?

### 新型PXMの目的と用途?

- ・顧客の要望に可能且つ柔軟に適応した機器構成
- ・フィルターモジュールの内臓、或いはアフターフィルターへの接続、仕様により変更可能なシステム設計
- ・目視で簡単に操作できるタッチスクリーン
- ・簡単な色替え操作
- ・高品質塗装に最適な超音波シフター„Cool Sieve“内臓(オプション)
- ・スマートデザインでクールな外観
- ・価格以上のパフォーマンス
- ・将来対応:新たな機能、ソフトをUSB-Interfaceでアップグレード



### 特徴:

- ・流動コンテナ供給
- ・オプション: カートンボックス供給
- ・防塵カバー、コンテナ・カートン用
- ・フィルターユニット内臓・アフターフィルター接続
- ・新粉供給、手動・自動
- ・高速色替え
- ・ピックアップチューブ用シールリングの拭き取り
- ・クリーンな作業環境
- ・20/22xイジェクター  
(34 特殊バージョン)

## 製品紹介

コープラント(株) (アクゾノーベル台湾 日本総代理店)

### アクゾノーベル 粉体塗料のご紹介

この場をお借りいたしまして、現在日本のお客様からご好評いただいております弊社取り扱い塗料を2種類ご紹介させていただきます。

#### 《ポリエステル樹脂系艶消塗料》

こちらはアクゾノーベル台湾の商品で、ポリエステル樹脂系の塗料で艶消が再現できます。高級感のある塗膜が再現可能です。右図のように多色種に対応でき、メタリックもごぞいます。

##### ○ 製品について

グロス：3-10%の範囲で再現可

焼付温度：200℃×15分

180℃×25分（物体温度）

耐候性：

フロリダ暴露5年

QUV-Aで2,000時間

（グロスロス50%）

##### ○ ご注文について

取扱い体制：オーダー生産受注

注文数量：100kgより

また、耐熱性や耐薬品性にも優れる商品でご希望がございました場合は各種試験も可能です。



#### 《耐熱塗料》

こちらはアクゾノーベル深圳(中国)の商品で塗膜表面の耐熱温度は200℃～350℃までの熱に耐えられる設計となっております。

表面はサテン調模様となっており、色種はブラック、グレー、グレーメタリック、ブラックメタリックの4色で展開しております。

こちらのご注文は300kg～となっております。

もし少しでも気になるものがございました場合は、お気軽にお問合せ下さい。

アクゾノーベル台湾 日本総代理店

コープラント株式会社

担当：村上

Tel:03-5493-2278

## 表紙解説

表紙絵画：小島輝夫

表紙写真

水芭蕉の一番花

尾瀬の5月中頃は水芭蕉が咲き始める頃であり、どの花でも咲き始めは美しい。この水芭蕉の一番花も気品ある容姿で、清い流れの中で咲いていた。(山の鼻付近にて撮影)

パウダーコーティング

ISSN 1346-6739

2016年4月20日 Vol.16 No.2

発行所：日本パウダーコーティング協同組合(JAPCA)

東京都港区芝 5-31-16 YCCビル9F

TEL: 03-3451-8555 FAX: 03-3451-9155

URL: <http://www.powder-coating.or.jp>

制作：パウダーコーティング誌 制作部

東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1 成蹊大学内

TEL: 0422-37-3749 FAX: 0422-37-3749

©2016 日本パウダーコーティング協同組合

本誌に記載されたすべての記事内容について、日本パウダーコーティング協同組合の許可なく転載・複写することを禁じる。

番外 旅行記 数回に分けて掲載致します。

場所：台湾 平溪線及び九分の旅 (事務局 福田)

皆様既に行かれた方が多数おられると思いますが、大変ローカルな小旅行が台北近くで行えます。

電車、汽車の旅お時間のある方はどうぞ。 訪問日：平成28年3月7日(月)

①9時発の自強号(特急)で台北から瑞芳駅(ルイファン)に向かい9:40瑞芳駅到着。

76元(約300円) 所要時間 約40分



平溪線案内図(瑞芳駅(ルイファン)⇄菁桐駅(チンツウ)) 瑞芳駅(九分最寄駅、タクシーで205元)

平溪線: 瑞芳駅⇒三貂嶺駅⇒大華駅⇒十分駅⇒望古駅⇒嶺脚駅⇒平溪駅⇒菁桐駅(終点)



瑞芳駅前コーヒーショップ



瑞芳駅に入線する気動車

②10:10発の気動車で終点の菁桐駅に向かう。約一時間後到着。

切符は一日周遊券 80元(300円ちょい) 平溪線は乗り降り自由



乗ってきた汽車(菁桐駅にて)ドハデです!  
(DR1000 気動車)



電車の中(結構車両の長い列車です)



青桐(アツ)駅(木造です)



青桐駅前商店街



旧炭鉱後



ノスタルジックなお店

③順次瑞芳に戻る時に平溪駅、十分駅に立ち寄る。(一時間に一本のため一時間待ちとなる)



平溪(ヒツ)駅



平溪駅前商店街



平溪駅前の喫茶店



喫茶店から見た天燈を上げる風景

次は十分、九分を掲載予定です。(十分瀑布は時間がなく行くことができませんでした。残念)

パウダーコーティング ISSN 1346-6739  
二〇一六年四月二〇日 Vol.16 No.2  
定価 二〇〇〇円

発行：日本パウダーコーティング協同組合 (JAPCA)  
東京都港区芝五・三・一六 YCCビル  
制作：パウダーコーティング誌制作部  
東京都武蔵野市吉祥寺北町三・三・一